



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所
ニュース&トピックス
(2013. 6. 25)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <http://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

2012年度中の信用金庫の預金・貸出金動向

とね かね しのぶ ゆうし
刀襦 和之、品田 雄志

ポイント

- 全国信用金庫の2012年度末の預金残高は、前期比2兆2,878億円、1.8%増の124兆8,763億円に、貸出金残高は、1,012億円、0.1%減の63兆6,876億円になった。
- 地区別の預金・貸出金の状況を見ると、預金残高は10地区で前期末を上回ったものの、貸出金残高が前期末を上回ったのは東海、近畿、南九州の3地区にとどまっている。
- 預貸率は、前期比1.1ポイント低下の50.9%となり、4年連続で前期末を下回った。地区別では、北海道、東北、北陸、四国の4地区が40%台であった。
- 信用金庫別にみると、預金が増加した信用金庫は234金庫、貸出金が増加した信用金庫は124金庫であった。また、①預金・貸出金とも増加が115金庫、②預金は増加、貸出金は減少が119金庫、③預金は減少、貸出金は増加が9金庫、④預金・貸出金とも減少が27金庫であった。
- 信用金庫別の預貸率は、70%以上が4金庫ある一方で40金庫は40%を下回った。前期末と比較して、50%未満の信用金庫の割合がさらに高まっている。

※本稿は、確報計数である25年6月3日付「全国信用金庫主要勘定(2013年3月末)」をもとに作成している。このため、速報ベースで取りまとめた24年5月13日付金融調査情報25-1「2012年度中の全国信用金庫主要勘定増減状況(速報)」とは計数が一部異なる。

1. 地区別の動向

(1) 全国信用金庫の状況

全国信用金庫の2012年度末の預金残高は、前期比2兆2,878億円、1.8%増加し、124兆8,763億円となった(図表1)。東日本大震災の発生に伴う保険金流入の一巡などから、伸び率は前年度(2.3%増)より低下した。

一方、貸出金残高は、前期末から減少に転じ、1,012億円、0.1%減少の63兆6,876億円とな

った。個人向けおよび地方公共団体向け貸出が増加したものの、企業向けが不動産業や医療・福祉など一部業種を除いて減少したことから、前年度(0.0%増)から減少に転じた。

預金が増加した一方で貸出金が減少したこともあり、2012年度末の預貸率は、前期比1.1ポイント低下の50.9%となり、4年連続で前期末を下回っている。

(図表1) 地区別の預金・貸出金の状況

(単位: 億円、%)

地区	預 金				貸 出 金				預 貸 率	
	2011年度末	2012年度末	前期比		2011年度末	2012年度末	前期比		2011年度末	2012年度末
			増減率	増減額			増減率	増減額		
北海道	65,059	66,143	1.6	1,083	30,445	30,346	0.3	98	46.6	45.7
東北	45,660	47,624	4.3	1,964	22,249	22,042	0.9	207	48.7	46.2
東京	223,533	226,917	1.5	3,383	119,147	118,533	0.5	613	53.2	52.2
関東	231,594	234,385	1.2	2,790	118,145	117,810	0.2	335	51.0	50.2
北陸	36,003	35,710	0.6	292	17,215	16,699	2.9	515	47.8	46.7
東海	248,839	255,448	2.6	6,609	131,005	132,174	0.8	1,168	52.6	51.7
近畿	247,833	252,958	2.0	5,124	131,895	131,931	0.0	35	53.2	52.1
中国	55,002	55,866	1.5	863	30,055	29,911	0.4	144	54.6	53.5
四国	24,656	25,484	3.3	828	10,487	10,221	2.5	265	42.5	40.1
九州北部	20,595	20,826	1.1	231	11,874	11,722	1.2	151	57.6	56.2
南九州	25,619	25,889	1.0	269	14,310	14,431	0.8	120	55.8	55.7
合計	1,225,884	1,248,763	1.8	22,878	637,888	636,876	0.1	1,012	52.0	50.9

(備考) 1. 沖縄県は合計に含む。

2. 預貸率の算出の際には、分母に譲渡性預金を含む。

(2) 地区別の状況

地区別の預金・貸出金の状況を見ると、預金残高は北陸を除く10地区で前期末を上回った。前年度に続き東北が4.3%増と高い伸びを示している。これに四国(3.3%増)、東海(2.6%増)、近畿(2.0%増)が続く。

貸出金残高は、東海(0.8%増)、南九州(0.8%増)、近畿(0.0%増)の3地区で前期末を上回った。貸出先では地公体向け融資の他に、東海では住宅ローン、南九州と近畿では不動産業向けの伸びが目立つ。

地区別の預貸率は、全11地区で低下し、北海道、東北、北陸、四国の4地区では40%台であった。

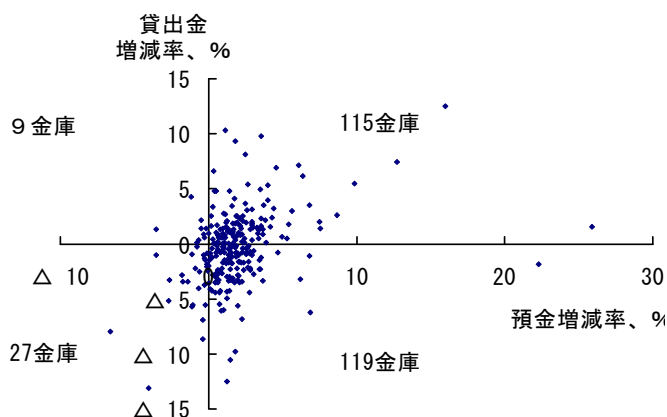
2. 信用金庫別の動向

(1) 預金・貸出金の状況

信用金庫別の預金・貸出金の状況を見ると、預金が増加した信用金庫は、前年度から11金庫減少の234金庫、貸出金が増加した信用金庫は、2金庫減少の124金庫であった(図表2)。

また、預金・貸出金とも増加が115金庫(5金庫減)、預金は増加、貸出金は減少が119金庫(6金庫減)、預金は減少、貸出金は増加が9金庫(3金庫増)、預金・貸出金とも

(図表2) 預金・貸出金増減率の分布



- (備考) 1. 2012年度末の預金および貸出金残高の前年度末比の増減率
2. 金庫間の合併調整済

減少が27金庫(7金庫増)であった。

(2) 預貸率の状況

信用金庫別の預貸率は、70%以上が4金庫(270金庫の1.4%)、60%以上70%未満が28金庫(10.3%)、50%以上60%未満が87金庫(32.2%)、40%以上50%未満が111金庫(41.1%)、40%未満が40金庫(14.8%)であった(図表3)。

2011年度末と比較すると、50%未満の層が増加しており、特に40%未満の金庫の増加が8金庫と目立つ。

3. 他業態の動向

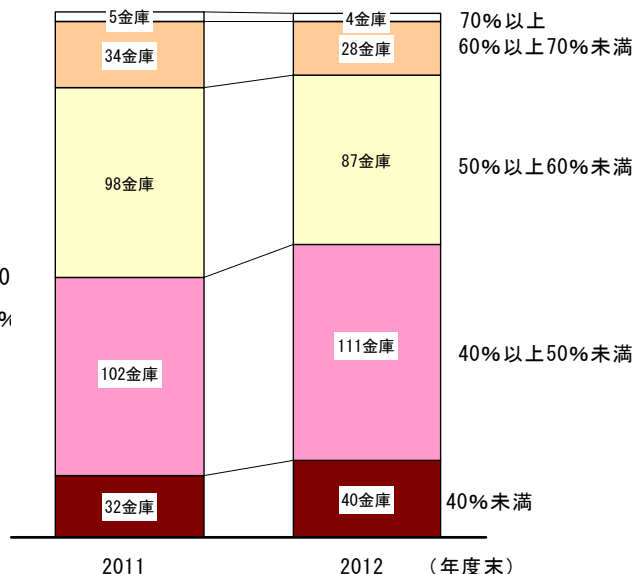
他業態¹の動向を見ると、都市銀行²は預金が増前期比3.5%増の285兆6,615億円、貸出金は1.3%増の182兆2,721億円、地方銀行は預金が増前期比3.3%増の228兆2,459億円、貸出金は3.2%増の166兆9,855億円、第二地方銀行は預金が増前期比0.5%増の60兆247億円、貸出金は1.1%増の45兆1,585億円であった。

他業態と信用金庫との増減状況を比較すると、総じて信用金庫の貸出金が伸び悩んでいることがうかがえる。

預貸金の詳細については、おつてレポートを作成し、情報提供する予定である。

以上

(図表3) 預貸率の内訳



¹ 日本銀行資料より作成

² 6行(みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな)の合計